



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年10月31日

上場会社名 三井製糖株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2109 URL <http://www.mitsui-sugar.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 雑賀 大介
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 馬鳥 秀彰 TEL 03(3663)3111
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月8日 配当支払開始予定日 平成28年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	51,232	3.8	2,231	△14.1	5,800	△7.3	3,633	4.5
28年3月期第2四半期	49,332	7.2	2,597	46.5	6,254	47.3	3,478	34.1

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 3,359百万円 (△7.9%) 28年3月期第2四半期 3,647百万円 (33.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	136.07	—
28年3月期第2四半期	130.26	—

※当社は、平成28年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	114,667	79,688	63.6	2,731.73
28年3月期	120,500	77,401	58.9	2,657.25

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 72,948百万円 28年3月期 70,962百万円

※当社は、平成28年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	6.00	—	8.00	14.00
29年3月期	—	7.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	35.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

※当社は、平成28年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成29年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成29年3月期の1株当たり期末配当金は7円となり、1株当たり年間配当金は14円となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	104,000	2.6	4,500	△18.0	11,000	△14.0	6,800	△10.3	254.64

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※当社は、平成28年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成29年3月期の連結業績予想（通期）における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式併合後の影響を考慮しております。株式併合を考慮しない場合の平成29年3月期の連結業績予想（通期）における1株当たり当期純利益は50円93銭となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	28,333,480株	28年3月期	28,333,480株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	1,629,302株	28年3月期	1,628,181株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	26,704,747株	28年3月期2Q	26,706,543株

（注）当社は、平成28年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（株式併合後の配当及び業績予想について）

当社は、平成28年6月22日開催の第92回定時株主総会決議に基づき、平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施し、併せて同日付で単元株式数の変更（1,000株から100株への変更）を実施しております。なお、株式併合を考慮しない場合の平成29年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下の通りであります。

1. 平成29年3月期の配当予想

- 1株当たり配当金
- 第2四半期末 7円（注1）
- 期末 7円（注2）

2. 平成29年3月期の連結業績予想

- 1株当たり当期純利益
- 通期 50円93銭

（注1）第2四半期末の配当は、株式併合実施前の株式数に対して支払われます。

（注2）株式併合考慮前に換算した配当額であります。

平成29年3月期の年間配当金（株式併合考慮前）は14円となります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日本銀行による経済政策・金融政策を背景に、雇用・所得環境に一定の改善が見られましたが、中国を始めとするアジア新興国等の景気減速や、英国の欧州連合（EU）離脱問題に加え、円高の進行などもあり、国内景気の下振れ懸念が強まりました。個人消費につきましても、依然として力強さを欠く動きとなり、先行きへの不透明感は継続しております。

このような状況の中、当社グループは本年4月より第6次中期経営計画「Mitsui Sugar Revolution Phase3（三井製糖2022への道）」（2016年4月～2018年3月）をスタートさせ、初年度計画の達成に向けた新たな施策の実行に着手いたしました。

当第2四半期連結累計期間の業績及びセグメントの概況は以下の通りであります。

(砂糖事業)

海外粗糖相場につきましては、期初は15セント半ばでスタートしたのち、世界的な需給逼迫見通しや商品市場への投機筋の資金流入を受けて徐々に上昇し、6月には20セント後半に達しました。7月に入るとブラジルの増産観測が強まり、しばらく相場上昇傾向は一服しましたが、その後再び同国の生産量の伸びに頭打ち感が強まると、投機資金の流入も重なって相場は23セントに達し、22セント半ばで当第2四半期末を迎えました。以上のような相場動向の中、当社では慎重な原料糖調達に努めてまいりましたが、前年同期比では原料費が増加いたしました。

生産面では、原油相場の低位推移を背景としたガスの調達コスト低下などから、前年同期比で製造変動費が減少いたしました。

販売面では、家庭用製品は前年同期を下回りましたが、業務用につきましては飲料ユーザー向けなどの販売が好調で前年同期をやや上回り、家庭用・業務用の合計は概ね前年並みとなりました。また、原料仕入れコストの上昇に対応し、9月下旬に出荷価格の引上げを実施いたしました。

連結子会社につきましては、北海道糖業㈱で販売が堅調に推移し、生和糖業㈱においても販売量の増加・販売価格の上昇があったほか、㈱平野屋の貢献もあり、増収増益となりました。

以上の結果、砂糖事業全体で、売上高43,025百万円、営業利益1,774百万円となりました。

期中の砂糖市況

国内市中相場（日本経済新聞掲載、東京上白大袋1kg当たり）

期を通じて187円～188円で推移

海外粗糖相場（ニューヨーク砂糖当限、1ポンド当たり）

始値 15.40セント 高値 23.60セント 安値 14.00セント 終値 22.53セント

(フードサイエンス事業)

フードサイエンス事業につきましては、パラチノースの売上高が前年同期を上回り、仕入価格も安定的に推移したことから売上総利益率が改善いたしました。

連結子会社につきましては、㈱タイショーテクノス、ニュートリー㈱ともに販売が好調に推移したものの、事業拡大に伴う先行投資などから、前年同期比で増収減益となりました。

以上の結果、フードサイエンス事業全体で、売上高7,452百万円、営業利益183百万円となりました。

なお、当社は、平成28年9月7日開催の取締役会において、連結子会社であるニュートリー㈱が、㈱三和化学研究所のニュートリション事業の一部を譲り受けることについて決議し、平成28年9月15日に両社間で事業譲渡契約が締結されました。事業譲渡日は平成29年4月1日を予定しております。

(不動産事業)

不動産事業につきましては、岡山県で新規に物流センターの賃貸ならびにメガソーラー発電を開始したことで、売上高は前年同期を上回りましたが、それに伴う初期費用の発生等により、営業利益は前年同期を下回り、売上高754百万円、営業利益273百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は51,232百万円（前年同期比3.8%増）、営業利益は2,231百万円（前年同期比14.1%減）となりました。

営業外損益においては、受取ロイヤリティー3,560百万円を計上しましたが、タイ国関連会社の業績悪化を主因として持分法による投資利益が前年同期を下回り、経常利益は5,800百万円（前年同期比7.3%減）となりました。一方、特別損益においては前期に計上した投資有価証券評価損が当期は無く、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,633百万円（前年同期比4.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

〔連結財政状態の変動状況〕

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比5,833百万円減少し114,667百万円となりました。連結貸借対照表の主要項目ごとの主な増減要因等は次の通りであります。

①流動資産

流動資産は、前連結会計年度末比7,175百万円減少し44,414百万円となりました。これは主として、原材料及び貯蔵品の増加1,590百万円等があった一方で、商品及び製品の減少7,655百万円、現金及び預金の減少1,184百万円等があったことによるものであります。

②固定資産

固定資産は、前連結会計年度末比1,341百万円増加し70,252百万円となりました。これは主として、リース投資資産の増加6,014百万円、機械装置及び運搬具の増加737百万円等があった一方で、建設仮勘定の減少4,242百万円、投資有価証券の減少606百万円、のれんの減少335百万円等があったことによるものであります。

③負債

負債は、前連結会計年度末比8,121百万円減少し34,978百万円となりました。これは主として、借入金の減少6,382百万円、支払手形及び買掛金の減少1,759百万円等があったことによるものであります。

④純資産

純資産は、前連結会計年度末比2,287百万円増加し79,688百万円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益3,633百万円、剰余金の配当1,068百万円等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、当上半期における急激な海外粗糖相場の上昇により当社の原料調達コストが大幅に増加し、9月末に出荷価格引上げを実施いたしましたが、依然として高止まりする海外粗糖相場の状況を踏まえて通期の営業減益を見込み、また、タイ国関連会社の業績悪化を主因とした持分法による投資損益の下振れにより経常利益も減益が見込まれるため、当初の業績予想（平成28年5月12日公表）を修正しております。本日別途開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」を併せてご覧いただきますようお願いいたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,601	16,417
受取手形及び売掛金	7,967	8,609
商品及び製品	15,665	8,010
仕掛品	1,651	1,735
原材料及び貯蔵品	5,508	7,098
繰延税金資産	722	600
その他	2,503	1,966
貸倒引当金	△30	△23
流動資産合計	51,590	44,414
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	35,321	35,571
減価償却累計額	△21,714	△22,082
建物及び構築物(純額)	13,607	13,488
機械装置及び運搬具	73,767	75,246
減価償却累計額	△59,695	△60,436
機械装置及び運搬具(純額)	14,072	14,809
工具、器具及び備品	2,370	2,395
減価償却累計額	△2,053	△2,001
工具、器具及び備品(純額)	317	394
土地	18,436	18,436
リース資産	888	893
減価償却累計額	△216	△263
リース資産(純額)	672	629
建設仮勘定	5,441	1,199
有形固定資産合計	52,547	48,957
無形固定資産		
のれん	2,523	2,188
その他	978	871
無形固定資産合計	3,501	3,059
投資その他の資産		
投資有価証券	11,136	10,529
長期貸付金	25	25
退職給付に係る資産	269	261
繰延税金資産	713	719
その他	741	6,724
貸倒引当金	△25	△24
投資その他の資産合計	12,861	18,235
固定資産合計	68,910	70,252
資産合計	120,500	114,667

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,240	5,481
短期借入金	5,610	110
1年内返済予定の長期借入金	1,760	1,484
リース債務	91	93
未払費用	3,183	2,904
未払法人税等	2,731	1,771
役員賞与引当金	73	27
その他	2,448	3,749
流動負債合計	23,139	15,621
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	2,817	2,211
リース債務	606	561
繰延税金負債	1,251	1,191
役員退職慰労引当金	216	232
退職給付に係る負債	3,227	3,235
資産除去債務	414	408
その他	1,426	1,517
固定負債合計	19,960	19,357
負債合計	43,099	34,978
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,083	7,083
資本剰余金	1,291	1,291
利益剰余金	64,643	67,209
自己株式	△2,900	△2,902
株主資本合計	70,118	72,680
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	639	666
繰延ヘッジ損益	4	2
為替換算調整勘定	206	△396
退職給付に係る調整累計額	△6	△4
その他の包括利益累計額合計	844	267
非支配株主持分	6,438	6,740
純資産合計	77,401	79,688
負債純資産合計	120,500	114,667

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	49,332	51,232
売上原価	37,617	39,209
売上総利益	11,715	12,022
販売費及び一般管理費		
配送費	2,321	2,491
役員賞与引当金繰入額	27	26
退職給付費用	67	119
その他	6,700	7,153
販売費及び一般管理費合計	9,117	9,791
営業利益	2,597	2,231
営業外収益		
受取利息	4	1
受取配当金	211	132
受取ロイヤリティー	3,364	3,560
持分法による投資利益	342	64
雑収入	77	141
営業外収益合計	4,000	3,899
営業外費用		
支払利息	55	46
固定資産除却損	66	44
設備撤去費	139	72
雑損失	80	167
営業外費用合計	343	331
経常利益	6,254	5,800
特別利益		
補助金収入	1,202	8
負ののれん発生益	78	—
特別利益合計	1,280	8
特別損失		
減損損失	—	50
固定資産圧縮損	1,186	1
投資有価証券評価損	506	—
段階取得に係る差損	52	—
特別損失合計	1,745	51
税金等調整前四半期純利益	5,789	5,756
法人税、住民税及び事業税	1,994	1,744
法人税等調整額	48	54
法人税等合計	2,043	1,799
四半期純利益	3,745	3,957
非支配株主に帰属する四半期純利益	267	323
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,478	3,633

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	3,745	3,957
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	99	23
繰延ヘッジ損益	△79	△0
退職給付に係る調整額	△48	△12
持分法適用会社に対する持分相当額	△70	△608
その他の包括利益合計	△98	△598
四半期包括利益	3,647	3,359
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,442	3,056
非支配株主に係る四半期包括利益	204	302

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	砂糖事業	フード サイエンス 事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	41,314	7,339	678	49,332	—	49,332
セグメント間の内部 売上高又は振替高	20	43	20	83	△83	—
計	41,335	7,382	698	49,416	△83	49,332
セグメント利益	2,027	211	358	2,597	—	2,597

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	砂糖事業	フード サイエンス 事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	43,025	7,452	754	51,232	—	51,232
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16	63	20	100	△100	—
計	43,042	7,515	774	51,332	△100	51,232
セグメント利益	1,774	183	273	2,231	—	2,231

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。